

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

公表：令和5年4月

討議年月日：令和5年3月31日

事業所名：放課後等デイサービス てあてるの芽 富士

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	<input type="radio"/>			法令遵守のスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			法令遵守の職員配置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		屋内は段差もなくバリアフリーではありますが、玄関付近、屋内の細かな部分にて環境の見直しを図っていきます。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			全職員が参画できるよう、また、さらに充実するように行っていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			アンケート活用はもちろん、日頃より問い合わせがあった際にも迅速に対応し、改善につなげるようにしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			前年度に引き続き、公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			事業所内研修、外部主催の研修に参加する機会を積極的に確保しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用児一人ひとりに対し、日々の様子から見られる課題を多角的に捉えながら職員で周知し合い、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			利用児の特性について職員で話し合い、プログラムを立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			利用児からの意見も考慮しながら、職員間で都度話し合いをしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			利用児の特性に合わせて、必要な課題を日々設定し、支援を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用児の特性を踏まえた個別活動と、集団遊びやクッキング、外出プログラムなどの集団活動を組み合わせを行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			支援開始前に、必要な情報共有を必ず行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		支援終了後に限らず、必要な情報を共有するようにしています。また、支援記録を各自確認するようにしています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			日々記録をとり、次の療育や支援につなげるよう、また、改善すべきところは改善するよう、取り組んでいます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			モニタリングの結果や利用児及び保護者のニーズを考慮したうえで、計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	<input type="radio"/>			基本活動を複数組み合わせさせて支援していますが、活動のさらなる充実を心がけていきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	<input type="radio"/>			学校との情報共有は、送迎時や電話にて適宜行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当児童はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			保護者の許可を取ったうえで、利用していた各関係機関との情報共有を行い、相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当児童はいません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>			専門機関と連携したり、外部の研修に積極的に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		<input type="radio"/>		感染症対策に配慮しながら、今後、交流機会をもてるよう検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			送迎時や連絡帳、電話、必要に応じたアセスメントにて、共通理解を図っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<input type="radio"/>			
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			入所時及び変更点がある際、丁寧に説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			送迎時や電話にて相談に応じ、必要な助言と支援を行っています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>		保護者の意見を聞き取りながら、前向きに検討していきます。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			苦情対応における体制の整備をしています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			おたよりやホームページ、SNSを通し、行事や活動内容の報告を発信しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			利用児や保護者に寄り添い、適切な手段で情報伝達を行っています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し、職員には研修時、保護者には契約時に周知しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			必要な訓練を計画的に実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修の機会を設け、適切な対応をしています。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				該当児童はいません。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				該当児童はいません。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を都度作成し、職員間で回覧し、周知し合っています。